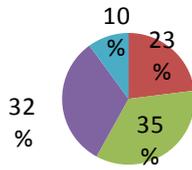


フィジカルアセスメント・アドバンスコース
アンケート結果（領域別）

研修前(呼吸)			
1) 観察には自信はありますか。			
	人	%	
自信がある	0	0%	
やや自信がある	7	23%	
どちらとも言えない	11	35%	
あまり自信がない	10	32%	
自信がない	3	10%	



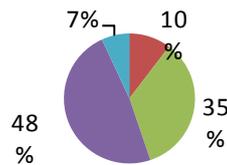
<やや自身がある理由>

- 呼吸の観察が必要な患者を多く見ているため

<どちらとも言えない・あまり自信がない・自信がない理由>

- 呼吸音の判断に自信がない
- 正常・異常の判断はつくが、どの程度かの見極めができない
- 呼吸パターンや呼吸音をすべて理解できていない

2) アセスメントには自信はありますか。			
	人	%	
自信がある	0	0%	
やや自信がある	3	10%	
どちらとも言えない	10	35%	
あまり自信がない	14	48%	
自信がない	2	7%	



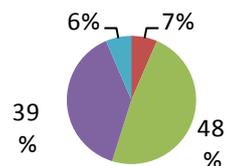
<やや自身がある理由>

- 小児領域ではできると思う
- RST 研修で学んだことは判断している

<どちらとも言えない・あまり自信がない・自信がない>

- 知識不足、経験がない
- 異常は発見したが、その判断に自信がない
- 画像のアセスメントができない
- 観察したままを医師に伝えてしまい、アセスメントしていない

3) 状況判断（アセスメントをもとにとる行動）には自信はありますか。			
	人	%	
自信がある	0	0.0%	
やや自信がある	2	6.5%	
どちらとも言えない	15	48%	
あまり自信がない	12	39%	
自信がない	2	6.5%	



<やや自信がある理由>

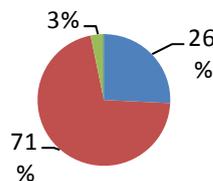
- 小児領域ではアセスメントし、その対応を実施できている

<どちらとも言えない・あまり自信がない・自信がない>

- 呼吸状態・バイタルサイン・検査データなどすべて合わせて状況判断することが難しい・正しい体位や排痰援助かの判断に自信がない

- 患者の自覚症状と観察から判断したことへの自信がない
- 医師の指示を待つてしまうことが多い

研修後（呼吸）			
1) 講義は理解できましたか。			
	人	%	
理解できた	8	26%	
やや理解できた	22	71%	
どちらとも言えない	1	3%	
あまり理解できなかった	0	0%	
理解できなかった	0	0%	



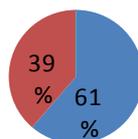
<理解できた・やや理解できた理由>

- 根拠が明確になった
- 病態が整理できた
- 具体的な事例が盛り込まれ、難しい内容でも理解ができた

<どちらとも言えない理由>

- 講義が少し早かった

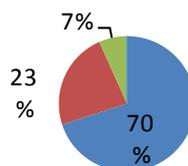
2) 視聴覚教材は有効でしたか。			
	人	%	
有効であった	19	61%	
やや有効であった	12	39%	
どちらとも言えない	0	0%	
あまり有効ではなかった	0	0%	
有効ではなかった	0	0%	



<有効であった・やや有効であった理由>

- 図やグラフなど、とてもわかりやすかった

3) 講義の理解を深めるために、シミュレーション演習は役立ちましたか。			
	人	%	
役立った	21	70%	
やや役立った	7	23%	
どちらとも言えない	2	7%	
あまり役立たなかった	0	0%	
役立たなかった	0	0%	



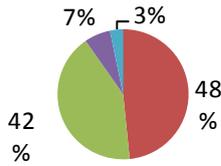
<役立った・やや役立った理由>

- 現場でよく起こる場面設定であったので、勉強になった
- シミュレーションをすると、実践にも役立つと思った
- シミュレーションによって、講義内容の理解が進んだ
- 実施者になると緊張したが、援助の実際と病態を関連づけることができた
- 振り返りをする中で、自分たちのアセスメントと行動を考えることができた

<どちらとも言えない理由>

- OR では設定のような場面に出会うことがない

4) 観察には自信ができましたか。			
	人	%	
自信がついた	0	0%	
やや自信がついた	15	48%	
どちらとも言えない	13	42%	
あまり自信がつかなかった	2	6%	
自信がつかなかった	1	3%	



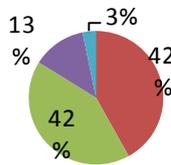
<やや自信がついた理由>

- ▶ 以前より、トータルしてアセスメントが考えられるようになった
- ▶ 足りない知識に気づくことができた
- ▶ 呼吸についてもっとしっかり観察しアセスメントしなければならないと思った

<どちらとも言えない・あまり自信がつかなかった・自信がつかなかった理由>

- ▶ 知識や観察の大切さは学んだが、実践に結びつけるにはもっと学ぶことが必要である
- ▶ まだ自分の判断に迷いそうである

5) アセスメントには自信ができましたか。			
	人	%	
自信がついた	0	0%	
やや自信がついた	13	42%	
どちらとも言えない	13	42%	
あまり自信がつかなかった	4	13%	
自信がつかなかった	1	3%	



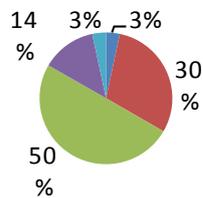
<やや自信がついた理由>

- ▶ 様々な可能性を考えられるようになった
- ▶ 血液ガスの考え方が理解でき、アセスメントの幅が広がった
- ▶ “なんとなく変”ではなく、集めた情報の活用について理解を深めることができた

<どちらとも言えない・あまり自信がつかなかった・自信がつかなかった理由>

- ▶ 呼吸のことだけではなく、いろんな情報を正確に得てアセスメントにつなげられるかの自信がない
- ▶ まだまだ自信が持てない。特に急変場面で対応できるか心配である
- ▶ アセスメント能力を上げ、それをこうどうに移せるようにもっと学習しなければならない

6) 状況判断（アセスメントをもとにとる行動）には自信ができましたか。			
	人	%	
自信がついた	1	3%	
やや自信がついた	9	30%	
どちらとも言えない	15	50%	
あまり自信がつかなかった	4	13%	
自信がつかなかった	1	3%	



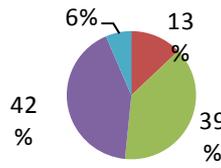
<自信がついた・やや自信がついた理由>

- ▶ シミュレーション学習を通して、急変時など判断の選択肢が増えた
- ▶ 何を伝えるべきか、優先順位を考え完結に伝えることを学んだ
- ▶ シミュレーション演習を体験したことで、考えながら実施していけるじしんが持てた

<どちらとも言えない・あまり自信がつかなかった・自信がつかなかった理由>

- ▶ はじめよりできるようになったが、もう少し頑張らないといけないと感じた
- ▶ 自信がつく部分もあったが、逆にもっと勉強しなければならないと思った
- ▶ まだまだ知識と経験が不測していると感じた

研修前（消化器）			
1) 観察には自信はありますか。			
	人	%	
自信がある	0	0%	
やや自信がある	4	13%	
どちらとも言えない	12	39%	
あまり自信がない	13	42%	
自信がない	2	6%	



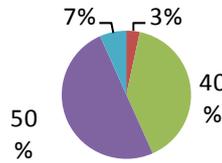
<やや自信がある理由>

- イレウスの患者を多く見る機会があるため
- 日々、腹部の聴診・打診・触診を実施している

<どちらとも言えない・あまり自信がない・自信がない>

- 普段あまり観察の機会がなく、ふくざつな症状はわからない
- イレウスの判別ができない
- 便秘・下痢など見てわかるものもあるが、その他は自信がない

2) アセスメントには自信はありますか。			
	人	%	
自信がある	0	0%	
やや自信がある	1	3%	
どちらとも言えない	12	40%	
あまり自信がない	15	50%	
自信がない	2	7%	



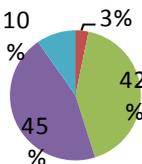
<やや自信がある理由>

- 自分なりに情報からアセスメントを行っている

<どちらとも言えない・あまり自信がない・自信がない>

- 病態の理解ができていない
- あまり経験がなく知識不足
- 多面的に観察ができないため、アセスメントに自信がない

3) 状況判断（アセスメントをもとにとる行動）には自信はありますか。			
	人	%	
自信がある	0	0%	
やや自信がある	1	3%	
どちらとも言えない	13	42%	
あまり自信がない	14	45%	
自信がない	3	10%	

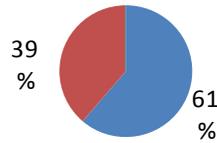


<やや自信がある理由>・・・なし

<どちらとも言えない・あまり自信がない・自信がない>

- 緊急性の判断ができないため、自信がない
- 症状に対しての行動しかとれない
- 異常を判断しても、医師に伝えるだけになってしまっている

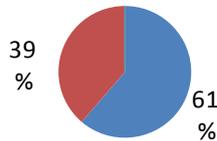
研修後（消化器）			
1) 講義は理解できましたか。			
	人	%	
理解できた	19	61%	
やや理解できた	12	39%	
どちらとも言えない	0	0%	
あまり理解できなかった	0	0%	
理解できなかった	0	0%	



<理解できた・やや理解できた理由>

- ▶ 基礎編での聴診・打診・触診についての復習ができた
- ▶ 情報のとり方と根拠が理解できた
- ▶ 今までの自分のアセスメントや行動の振り返りができ、自信につながった
- ▶ 基本的なことから復習もかねての講義であったため、理解しやすかった
- ▶ 症状別に観察項目がわかれていたため、理解ができた

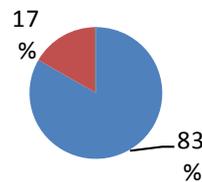
2) 視聴覚教材は有効でしたか。			
	人	%	
有効であった	19	61%	
やや有効であった	12	39%	
どちらとも言えない	0	3%	
あまり有効ではなかった	0	0%	
有効ではなかった	0	0%	



<有効であった・やや有効であった>

- ▶ スライドがわかりやすかった

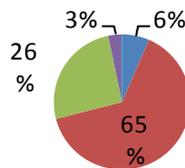
3) 講義の理解を深めるために、グループワークは役立ちましたか。			
	人	%	
役立った	25	83%	
やや役立った	5	17%	
どちらとも言えない	0	0%	
あまり役立たなかった	0	0%	
役立たなかった	0	0%	



<役立った・やや役立った理由>

- ▶ 領域の違う人の考えや意見が聞け、アセスメントの幅が広がった
- ▶ 講義の内容を、模擬事例の症状やデータと合わせて理解することができた

4) 観察には自信ができましたか。			
	人	%	
自信がいった	2	6%	
やや自信がいった	20	65%	
どちらとも言えない	8	26%	
あまり自信がつかなかった	1	3%	
自信がつかなかった	0	0%	



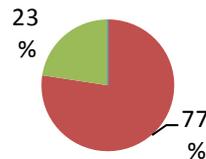
<自信がいった・やや自信がいった理由>

- ▶ 今まで漠然とみていたが、正しい観察で必要な情報がとれると感じた
- ▶ 腹痛の程度や痛みの種類の判断が苦手だったが、やはりまずは観察が基本なんだと思った

<どちらとも言えない・あまり自信がつかなかった理由>

- ▶ 実際の患者に正しい観察ができるか自信がない
- ▶ 継続して実践してみないと自信にはつながらない

5) アセスメントには自信ができましたか。			
	人	%	
自信がついた	0	0%	
やや自信がついた	24	77%	
どちらとも言えない	7	23%	
あまり自信がつかない	0	0%	
自信がつかない	0	0%	



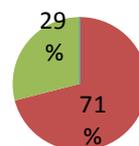
<やや自身がついた理由>

- 消化器症状の発生機序がわかりやすくなったので、アセスメントしやすくなった
- グループワークでのアセスメントが自信につながった
- SBAR に沿って、情報を整理していくとアセスメントしやすかった

<どちらとも言えない理由>

- データの見方を含め、自身がまだない
- 実践を重ねてみないと自信にはつながらない

6) 状況判断（アセスメントをもとにとる行動）には自信ができましたか。			
	人	%	
自信がついた	0	0%	
やや自信がついた	22	71%	
どちらとも言えない	9	29%	
あまり自信がつかない	0	0%	
自信がつかない	0	0%	



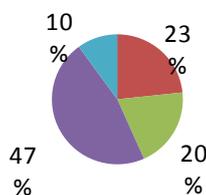
<やや自身がついた理由>

- アセスメントに自信が持てたので、状況判断もしやすくなった
- 医師への報告をより効率の良いものにできそうである
- グループワークによって、自分の対応への自信が持てた

<どちらとも言えない理由>

- ペーパーペイシェントであったため、実際の患者に的確に判断できるか分からない
- 緊急時に適切な判断が求められるとおもうので、実践の中で自信を付けていきたい

研修前（循環）			
1) 観察には自信はありますか。			
	人	%	
自信がある	0	0%	
やや自信がある	7	23%	
どちらとも言えない	6	20%	
あまり自信がない	14	47%	
自信がない	3	10%	



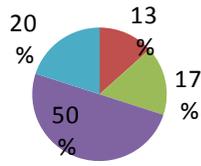
<やや自信がある理由>

- クリティカル領域での勤務しているため、やや自信がある

<どちらとも言えない・あまり自信がない・自信がない理由>

- 苦手意識が強い
- 知識不足と経験不足
- 心電図が読めない

2) アセスメントには自信がありますか。			
	人	%	
自信がある	0	0%	
やや自信がある	4	13%	
どちらとも言えない	5	17%	
あまり自信がない	15	50%	
自信がない	6	20%	



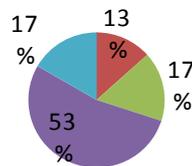
<やや自身がある理由>

- クリティカル領域での勤務しているため、やや自信がある

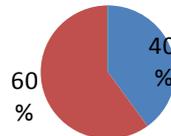
<どちらとも言えない・あまり自信がない・自信がない理由>

- 異常とわかって、何がどのようになっているかわからない
- 心電図が読めない。モニターでの変化が何を表しているのか判断できない

3) 状況判断（アセスメントをもとにとる行動）には自信がありますか。			
	人	%	
自信がある	0	0%	
やや自信がある	4	13%	
どちらとも言えない	5	17%	
あまり自信がない	16	53%	
自信がない	5	17%	



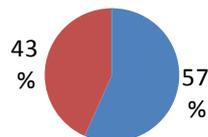
研修後（循環）			
1) 講義は理解できましたか。			
	人	%	
理解できた	12	40%	
やや理解できた	18	60%	
どちらとも言えない	0	0%	
あまり理解できなかった	0	0%	
理解できなかった	0	0%	



<理解できた・やや理解できた理由>

- ポイントが明確でわかりやすかった
- 具体的な数値が提示してあり、理解しやすかった
- 新たな知識を得ることができた
- 曖昧にしていたことが少しりかいでき、苦手意識がなくなった

2) 視聴覚教材は有効でしたか。			
	人	%	
有効であった	17	57%	
やや有効であった	13	43%	
どちらとも言えない	0	0%	
あまり有効ではなかった	0	0%	
有効ではなかった	0	0%	

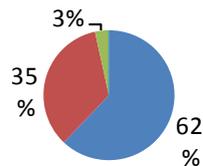


<有効であった・やや有効であった理由>

- 資料・が見やすく、理解につながった

3) 講義の理解を深めるために、シミュレーション演習は役立ちましたか。

	人	%
役立った	18	62%
やや役立った	10	35%
どちらとも言えない	1	3%
あまり役立たなかった	0	0%
役立たなかった	0	0%



<役立った・やや役立った理由>

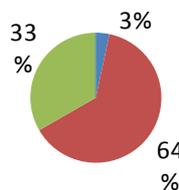
- 実際よくある状況設定であったので、実践で活かそうである
- 講義で理解したつもりだが、シミュレーションではできないことがあり、課題が見つかった
- メンバーとリーダーの協力の重要性を感じた
- 情報をもとにアセスメントし、医師に報告するという一連の流れの行動に自信がついた
- 胸痛時の対応のノウハウがわかり、現場で活かすことができる

<どちらとも言えない理由 >

- 急変対応に焦点があてられていたように思う

4) 観察には自信ができましたか。

	人	%
自信がついた	1	3%
やや自信がついた	19	64%
どちらとも言えない	10	33%
あまり自信がつかなかった	0	0%
自信がつかなかった	0	0%



<自信がついた・やや自信がついた理由>

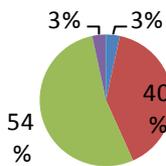
- 必要な観察項目とどこに着目すべきなのが理解できた
- 12誘導の見方、循環動態についての考え方が理解できた
- 呼吸状態も一緒にみることの重要性を学んだ

<どちらとも言えない理由>

- 実践の場でできるようになれば自信がつく

5) アセスメントには自信ができましたか。

	人	%
自信がついた	1	3%
やや自信がついた	12	40%
どちらとも言えない	16	54%
あまり自信がつかなかった	1	3%
自信がつかなかった	0	0%



<自信がついた・やや自信がついた理由>

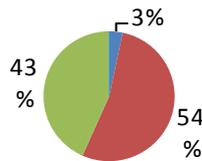
- シミュレーションで考えることができ、自信につながった
- アセスメントの根拠となるものを多く学べた
- 考え方を学び、研修前より正確なアセスメントができるようになった

<どちらとも言えない・あまり自信がつかなかった理由>

- まだ観察した内容からアセスメントに確信が持てない
- 足りない知識が多く自信を持ったアセスメントできないが、課題として取り組みたい
- 実践でできなければ自信にはつながらない

6)状況判断（アセスメントをもとにとる行動）には自信がつけましたか。

	人	%	
自信がついた	1	3%	
やや自信がついた	16	54%	
どちらとも言えない	13	43%	
あまり自信がつかなかった	0	0%	
自信がつかなかった	0	0%	



<自信がついた・やや自信がついた理由>

- 実践で繰り返してみないとわからないが、前より自信がついた
- SBAR の活用もでき、報告までに自信が持てた
- アセスメントができ、次の行動が考えられるようになった

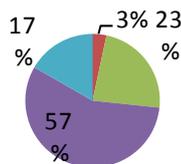
<どちらとも言えない理由>

- まだ自信があるまでは言えない。自己学習と実践で深めていきたい
- 苦手意識は低くなったが、まだ自信にはつながらない
- 正しいアセスメントを基に正しい対応が取れるように実践で深める

研修前（脳神経）

1) 観察には自信はありますか。

	人	%	
自信がある	0	0%	
やや自信がある	1	3%	
どちらとも言えない	7	23%	
あまり自信がない	17	57%	
自信がない	5	17%	



<やや自信がある理由>

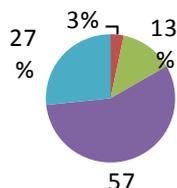
- 神経所見は日頃診ている

<どちらとも言えない・あまり自信がない・自信がない理由>

- 苦手である
- 瞳孔の所見くらいしか神経所見はみていない
- 神経の正常・異常の評価をしたことがない

2)アセスメントには自信がありますか。

	人	%	
自信がある	0	0%	
やや自信がある	1	3%	
どちらとも言えない	4	13%	
あまり自信がない	17	57%	
自信がない	8	27%	



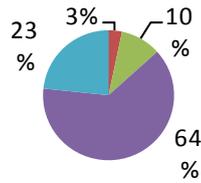
<やや自信がある理由>

- 日頃情報を基にアセスメントを行っている

<どちらとも言えない・あまり自信がない・自信がない理由>

- 領域が広く、知識がない
- 症状から何をアセスメントするのがわからない

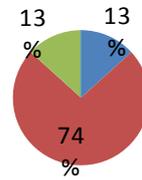
3) 状況判断（アセスメントをもとにとる行動）には自信がありますか。			
	人	%	
自信がある	0	0%	
やや自信がある	1	3%	
どちらとも言えない	3	10%	
あまり自信がない	19	63%	
自信がない	7	23%	



<やや自信がある理由>

- アセスメントを基に行動はとっているが、よりよいものを学びたい
- （どちらとも言えない・あまり自信がない・自信がない理由）
- 正しいアセスメントができないので、自信がない
- 知識・経験不足から自信がない

研修後（脳神経）			
1) 講義は理解できましたか。			
	人	%	
理解できた	4	13%	
やや理解できた	22	74%	
どちらとも言えない	4	13%	
あまり理解できなかった	0	0%	
理解できなかった	0	0%	



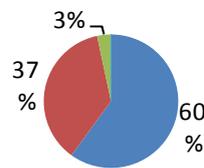
<理解できた・やや理解できた理由>

- わかりやすく、楽しい講義で理解が深まった
- 今までの臨床での体験と照らし合わせて考えることができた
- 複雑な分野だが、学習のポイントがわかった
- 自己学習でより深められそうである

<どちらとも言えない>

- まだまだ難しいと感じ、復習の必要がある
- 普段見ている瞳孔についても難しいと感じた

2) 視聴覚教材は有効でしたか。			
	人	%	
有効であった	18	60%	
やや有効であった	11	37%	
どちらとも言えない	1	3%	
あまり有効ではなかった	0	0%	
有効ではなかった	0	0%	

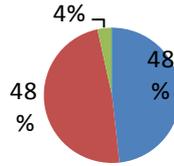


<有効であった・やや有効であった>

- 資料の絵や図解がとてもわかりやすかった

<どちらとも言えない>・・・理由なし

3) 講義の理解を深めるために、グループワークは役立ちましたか。			
	人	%	
役立った	14	48%	
やや役立った	14	48%	
どちらとも言えない	1	4%	
あまり役立たなかった	0	0%	
役立たなかった	0	0%	



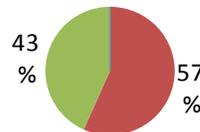
<役立った・やや役立った理由>

- 自分の考えと他の人の考えを合せることで、アセスメントの視野が広がった
- 意見を共有することで、情報の整理につながった
- 様々な情報・知識を統合してアセスメントする機会がもてて良かった

<どちらとも言えない>

- もっと活発な意見交換をしたかった

4) 観察には自信がつけましたか。			
	人	%	
自信がついた	0	0%	
やや自信がついた	17	57%	
どちらとも言えない	13	43%	
あまり自信がつかなかった	0	0%	
自信がつかなかった	0	0%	



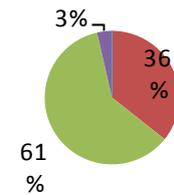
<やや自身がついた理由>

- 今までより、観察するポイントが増えた
- 神経所見の評価方法が理解できた

<どちらとも言えない理由>

- 学習する前よりは自信がもてたが、実践でしっかり出来なければならない
- まだ難しいと感じる

5) アセスメントには自信がつけましたか。			
	人	%	
自信がついた	0	0%	
やや自信がついた	10	36%	
どちらとも言えない	17	60%	
あまり自信がつかなかった	1	4%	
自信がつかなかった	0	0%	



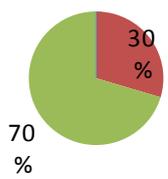
<やや自身が付いた理由>

- 自分で得た情報からアセスメントすることが大切だと感じた
- 今まで、何となく変と思うレベルであったが、根拠をもって考えることができた

<どちらとも言えない・あまり自信がつかなかった理由>

- まだまだ症状から判断に迷うところがありそうである
- 資料をみながらやっと考えることができるレベルである
- どうアセスメントすれば良いかわかってきたので、今後実践していく

6)状況判断（アセスメントをもとにとる行動）には自信がつけましたか。			
	人	%	
自信がついた	0	0%	
やや自信がついた	8	30%	
どちらとも言えない	19	70%	
あまり自信がつかなかった	0	0%	
自信がつかなかった	0	0%	



<やや自身がついた理由>

- 医師に伝える情報を選別することができそう
- アセスメントを基に行動がとれた感じがした

<どちらとも言えない理由>

- 緊急性があるかどうかまだ判断できない
- アセスメントにまだ不安があるため、状況判断にも自信が持てない